

多賀城市災害対策本部からのお知らせ

平成23(2011)年7月4日(月)午前9時発表

多賀城市内の被害状況	
・死亡者	187名
(内訳)男性	113名
女性	74名
・行方不明者	3名
・避難者数	311名
	(161世帯)

菊地健次郎市長から

発災以来間もなく4か月が経過しようとしています。

災害対策本部も、本日から多賀城市職員のみでの開催となりました。

まだ先行き不透明ですが、みんなでスクラムを組んで頑張っていきたいと思えます。

これからますます暑くなるので、熱中症などに気をつけて作業をするようにしてください。

市役所から

応急仮設住宅については既に受付を終了していますが、申込総数は591件となっています。

民間借上げ住宅の申込総件数は、先週52件の申請があり、1,140件となっています。

住宅応急修理の受付総件数は、先週17件の申請があり、1,577件となっています。

入浴支援については、6月13日(月)から大人用6,408枚、小人用342枚の合計6,750枚の入浴券を交付しており、1日当たり約400人が利用しています。

寄附金は、254件、1億1,600万円となっています。

義援金については、7月1日現在で1億2,176万7,000円となっています。

民有地内の被災車両の撤去については、2,548台を撤去しています。

被災家屋及びブロック塀の解体に関する申込件数は、884件となっています。

罹災(りさい)証明書の発行は14,404件、罹災(りさい)届出証明書の発行は13,942件となっています。

津波被災家屋の再調査については、569件の申込に対して555件が終

了しています。

津波被害家屋の調査の結果

全壊	1,579件
大規模半壊	1,539件
半壊	809件
半壊に至らない	1,011件
未確定	418件

となっています。

一方、津波以外の被災家屋の調査については、4,375件の申込に対して4,252件終了しています。

津波以外の被害家屋の調査の結果

全壊	32件
大規模半壊	66件
半壊	380件
半壊に至らない	3,232件

となっています。

6階の総合相談窓口については、7月2日(土)までで17,967件の相談がありました。

総合相談窓口については7月9日(土)で終了しますが、社会福祉課に関連する相談については食堂に場所を移して開設します。

なお、社会福祉課関連相談窓口の土曜日の開設に関しても、7月9日の状況を見た上で、7月16日から日曜日に加えて土曜日も開設しないこととします。

ボランティアの受付も減少傾向であることから、社会福祉協議会でも体制の見直しを検討しています。

ブロック塀のがれきの撤去については、7月3日(日)現在で459件となっています。伊豆の国市の支援が先週で終了し、7月11日(月)から4日間天童市からの支援を受けることとしています。

被災宅地の応急判定については、

大被害	25カ所
中被害	31カ所
小被害	3カ所

の合計59カ所となっています。

7月5日(火)に宮城県の政府現地対策本部の本部長である末松内閣府副大臣が来庁し、工場地帯の被災地の視察と、市長・副市長及び事業者との懇談会が行われる予定です。

7月8日(金)に災害復興検討委員会を開催します。

津波により被災した全世帯に就業状況や居留意向に関するアンケート調査票を郵送しました。7月4日(月)まで回答をもらうこととしており、早期に取りまとめまいります。

今月分の水道の検針を7月2日(土)から実施しており、応急仮設住宅も検針を行うこととしております。